



平成 29 年 5 月 11 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 博 展
 (コード番号：2173 東証 J A S D A Q)
 本 社 所 在 地 東 京 都 中 央 区 築 地 一 丁 目 13 番 14 号
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 田 口 徳 久
 問 合 せ 先 経 営 本 部 長 田 中 雅 樹
 電 話 番 号 0 3 (6 2 7 8) 0 0 1 0

特別損失の計上および業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期の決算において、下記のとおり特別損失を計上することとなり、また平成 29 年 2 月 7 日に公表しました平成 29 年 3 月期通期業績予想（連結・個別）と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、平成 27 年 2 月 10 日に株式会社アイアクト（以下「アイアクト」といいます。）を完全子会社化し、昨今の IoT や AI 等目覚ましいデジタル技術革新時代に対応すべく、従来の事業モデルからの脱却・進化を目指し体制強化を図ってまいりました。

しかしながら、当社は、アイアクトの現時点における収益性を踏まえ、連結上のみ識別されている CMS* 構築関連技術、商標、顧客との継続取引関係等の同社の無形固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、平成 29 年 3 月期連結決算において、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失 106 百万円を特別損失に計上することといたしました。

なお、当該特別損失による平成 29 年 3 月期個別決算への影響はございません。

*:Content Management System（コンテンツ・マネジメント・システム）の略称で、Web サイトを管理・更新できるシステムのことをいいます。

2. 業績予想と実績値の差異

平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想と実績値の差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	8,933	△340	△350	△320	△83 円 45 銭
実績値（B）	9,268	△253	△262	△369	△96 円 29 銭
増減額（B－A）	335	86	87	△49	
増減率（%）	3.8	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 3 月期）	8,088	170	161	97	26 円 33 銭

NEWS RELEASE

平成 29 年 3 月期 通期個別業績予想と実績値の差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	8,267	△106	△115	△300	△78 円 24 銭
実績値（B）	8,601	14	7	△251	△65 円 49 銭
増減額（B－A）	334	120	122	48	
増減率（％）	4.0	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 3 月期）	7,449	235	227	150	40 円 70 銭

3. 差異の理由

当社グループの平成 29 年 3 月期連結決算における売上高につきましては、株式会社博展の主力事業であるリアルとデジタルの融合によって創出されるエクスペリエンス・マーケティング事業のうち展示会事業において、クライアントの出展計画・規模の見直しや、受注競争環境の激化等により前年と比較し微増にとどまる見通しでありましたが、第 4 四半期において積極的な営業活動を展開したことにより、想定以上の受注獲得に至った結果、前回発表予想を上回ることとなりました。営業利益および経常利益につきましては、上記の理由により前回発表予想より改善いたしました。なお、前述の特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を下回る結果となりました。

平成 29 年 3 月期個別決算につきましても、連結決算の修正理由と同様の理由により、売上高および営業利益以下、各区分利益におきまして、前回発表予想を上回る結果となりました。

以 上